



押水小学校 学校だより

令和8年2月2日（月）

未来を拓く

押水小学校
校長 坂井 雪絵

キーワードは「高める」「つながる」「動き出す」

授業参観・親子活動・講演会

1月30日（金）は、雪で足元が悪い中、授業参観（6年生は親子活動）講演会に足を運んでいただき、ありがとうございました。それぞれの学級で子どもたちの頑張る姿を見ていただけたのではないかと思います。

講演会では、高校や大学も見据えて今後求められる力や、お子さんのタイプに合わせた意欲につながる認め方などのお話がありました。講演会の後、保護者の方から「6つのタイプについて詳しく見たいので、資料はありますか」とのご質問をいただきました。講師の川本先生より資料を頂きましたので、マチコミにてお届けします。ご覧ください。



2年 漢字づくりに挑戦!



5年 宝達志水町のよさを伝えます



講演会の様子

おいしい給食ありがとうございます！

毎日おいしい給食を作ってくださっている調理員の皆さんに向けて、子どもたちがお手紙を書きました。

1月27日（火）代表の給食委員会6年生が、全校児童の手紙を調理員の皆さんに手渡しました。調理員さんから「おいしく食べてください」との言葉があり、元気に返事をした子どもたち。揚げパンやチキンのクリーム煮をおいしそうに頬張っていました。

温かいものは温かく、焼き加減や柔らかさに気を配りながら、おいしく調理してくださっている調理員の皆さん。感謝の気持ちをもって、残さず食べられるといいですね。



生徒指導部
より

ゲーム依存症の怖さについて

～学校医さんに教えていただきました～

1月15日（木）5，6年生が、学校医であるとどろき医院副院長の中村先生から、「ネット・ゲーム依存」のお話を伺いました。大人でもはまってしまうネットやゲーム。子どもの脳には、大人以上の影響があるようです。

「過ぎると前頭葉が委縮する」どういうことかということ、ネットやゲームを2時間以上する日が長期間続くと、前頭葉の働き（我慢する力）が低下し、最終的には委縮してしまうとのことでした。ネットやゲームが「やめられない」のは、前頭葉の働きと関係があるようです。一度脳が委縮すると、元に戻りません。子どもの脳が完全に成長するのが16～25歳らしく、小中学生の脳には、ネットやゲームの刺激が私たちが思っている以上に強いようです。

「ゲームをして疲れたな」「なんだかイライラする」「眠れない」「不安」「集中できない」等の様子があれば、「依存」傾向のサイン。そんなサインが出たら、一度ネットやゲームをやめることが大切だそうです。子どものうちにネットやゲーム以外の遊びを知っておくことも大切かもしれません。

ちなみに、「依存」になる前なら、生活リズムは元に戻しやすいとのことでした。大人の私たちも気を付けなければ！とドキッとさせられた時間でした。子どもたちも、初めて知ったことがたくさんあったようで、自分の生活を見つめ直す良い機会となりました。学校ではパソコンで学習する機会が多いので、使い方の指導を重視していかなければなりません。ぜひ、ご家庭でも、お子さんとネットやゲームとの付き合い方を話し合っていただければと思います。

